

Cisco Headset 5xxシリーズの設定

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[Headset 500シリーズ](#)

[デバイスとの接続](#)

[Communications Manager 12.5 SU\(1\)](#)

[設定](#)

[ヘッドセットの接続](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、シスコヘッドセット500シリーズを設定する手順について説明します。Cisco Unified Communications Managerバージョン12.5(1)SU1では、ヘッドセットの管理、イベントリ、および設定の管理を行うことができます。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Unified Communications Manager (CUCM)
- シスコの電話
- ヘッドセット

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づいています。

- CUCM:12.5(1)SU1(12.5.1.11900-146)
- 電話 : CP-8861(sip88xx.12-5-1SR3-74)
- ヘッドセット : 520 (ファームウェア15-18-15)、532 (ファームウェア15-18-15)、561 (ファームウェア1-5-1-15)、562 (ファームウェア1-5-1-15)

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このド


キュメント内で使用されているデバイスはすべて、クリアな設定（デフォルト）から作業を始めています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。


背景説明

シスコのヘッドセット500シリーズは、Cisco IP Phoneおよびソフトクライアント向けに最適化された有線およびワイヤレスヘッドセットを幅広く提供します。Cisco Unified Communications ManagerでCiscoヘッドセットを使用すると、管理者はヘッドセットの管理、ファームウェアの制御、設定のカスタマイズなどを行うことができます。

シスコの電話機でヘッドセットを使用するには、次の表に示すいくつかの最小要件があります。

ヘッドセットモデル	コネクタ	7800/8800のサポート 非USB	7800/8800 サポート USB	7800/8800 電話機の ファーム ウェア	Jabber バージョン	DX70/80
521/522	USBおよび3.5 mm	N/A	8851、 8861、および 8865	12.1(1)	12.5	CE9.3
531/532	USBおよびRJ-9	7821、 7841、 7861、 8811、 8841、8845	8851、 8861、8865	12.1(1)	12.5	CE9.3
561/562	USBおよびY字型ケーブル	7821、 7841、 7861、 8811、 8841、8845	8851、 8861、8865	12.5	12.5	CE9.3

 注:RJ-9またはY字型ケーブル(RJ9 + RJ11)を使用する場合は、最小要件はありません。Jabber 12.0はヘッドセットをサポートし、12.5はソフトウェアアップグレードを追加し、12.6は構成管理をサポートします。

 注：マルチプラットフォームのCisco Phoneの互換性については、リリースノートを参照してください。6800 MPPシリーズ：[Phone 6800シリーズのアクセサリサポート](#)

すべてのCUCMバージョンがサポートされますが、シスコのヘッドセットサービスとヘッドセットインベントリはCM 12.5 SU1でのみ使用できます。

高度な機能は、ソフトウェアの最新バージョンでのみ使用できます。互換性の詳細については、[ヘッドセットデータシート](#)を参照してください。

従来のシスコの電話機、サードパーティ製アプリケーション、およびサードパーティ製デバイスは、Cisco 500ヘッドセットシリーズで動作しますが、テストされておらず、サポートされていません。

Headset 500シリーズ

シスコのヘッドセットは、快適なエクスペリエンスを提供するさまざまなオプションを提供します。オプションには、ヘッドセット、ベース、およびコネクタの複数のタイプが含まれます。


ヘッドセット5XXシリーズタイプ

- 有線：ヘッドセットは、接続されたデバイス（ヘッドセット521、522、531、および532）に有線接続されます。
- 無線：ヘッドセットは、接続されたデバイスに無線接続されています。主に、ヘッドセット561および562用のBluetoothとDigital Enhanced Cordless Telecommunications(DECT)の2種類のワイヤレス接続があります
- シングルイヤー-1つのイヤーカップ付きのヘッドセット。「モノラル」ヘッドセット（ヘッドセット521、531、561）と呼ばれることもあります。
- デュアルイヤーヘッドセット（2つのイヤーカップ付き）「バイノーラル」、「ステレオ」、「デュオ」ヘッドセットと呼ばれることもあります（ヘッドセット522、532、562）

ヘッドセットのモデルとコネクタを表に示します。

シリーズのモデル	 521/522	 531/532	 561/562 (シングルベース)	 561/562 (マルチベース)
Type	有線	Wired with Quick Disconnect(QD)	ワイヤレス (DECT 6.0)	ワイヤレス (DECT 6.0)
同時接続	1	1	1	3*

コネクタ	3.5 mmおよび USBアダプタ	QDからRJ9 (電 話機用) またはQD to USBアダプタ	USB-Aおよび RJ9/RJ11 (Y字型ケーブル)	USB-A X 2およ びRJ9/RJ11 (Y字型ケーブ ル)
------	----------------------	---	--	---

 注:*DECT Multi baseは、Bluetoothデバイス1台+有線デバイス2台 (USB 2台またはUSB 1台 + RJ9/RJ11 1台) をサポートします。

Cisco Headset 500シリーズは、電話機、携帯電話、またはコンピュータでヘッドセットを使用するために、3.5 mm、USB、QD、標準ベース、Multibaseなどのコネクタの種類を提供します。要件によって異なります。

3.5 mm - USBアダプタ



- ラップトップ、タブレット、携帯電話のヘッドセットを接続する標準の3.5 mmジャック
- ハンドヘルドコントローラは、3.5 mmヘッドセットをUSBに接続し、重要なコール制御機能に簡単にアクセスできます。この機能には、応答、通話終了、保留/再開 (複数の通話)、ミュート、音量増加、音量減少などがあります

QDからRJ9 (電話の場合) またはQDからUSBへのアダプタ



- QDからUSB。主要なコール制御機能に簡単にアクセスできます。
- QDからRJ9へ。RJ9：最も広範なCisco IP Phone接続を提供

標準ベース



- 最新のDECTテクノロジーにより、クリアな音声で最大100 m (300フィート) の距離までローミングできます
- AES-128暗号化により、セキュアな通信を実現
- ドッキングを解除すると、ヘッドセットが自動的にコールに応答します。ドッキングすると、ヘッドセットはコールを終了します
- 標準ベースには、USB接続用のUSB-Aケーブルと、Cisco IP Phone接続用のRJ9/11 Yケーブルが付属しています

マルチベース



- Standardベースステーションにリストされているすべての機能
- 複数の物理およびBluetoothソースに接続可能
- ヘッドセットは、ボタンを1回押すだけで、どの通話元からのコールにも応答できます。マルチベースステーションは、着信コールの送信元を自動的に選択します
- マルチベースステーションには、USB接続用に2本のUSB-Aケーブル、およびCisco IP Phone接続用にRJ9/11 Yケーブルが付属しています

デバイスとの接続

デバイスへの接続は、使用している電話機のモデル、アダプタのタイプ、およびヘッドセットによって異なります。デバイスとの接続は次の表に示すとおりです。

電話機モデルへの接続	78xx	8811 / 8841/45	8851 / 8861/65	JabberまたはWebex搭載	DX70/80
------------	------	----------------	----------------	------------------	---------

				PC/Mac/ラップトップ	
USBケーブル	N/A	N/A	Yes	Yes	Yes
Y字型ケーブル	Yes	Yes	Yes	N/A	N/A

Communications Manager 12.5 SU(1)

CUCMは、ヘッドセットモデル、接続ステータス、ファームウェアリリース、接続などに基づくレポートを提供します。


CUCMはヘッドセットの設定を制御します。ワイヤレスの電力範囲、広帯域/狭帯域の設定、ファームウェアバージョン、Bluetoothオン/オフなど（管理者に役立つテンプレートも含む）を制御します。

CUCMコールレコード(CMR)は、RSSI（無線信号強度）、フレームエラー、接続ドロップの理由、ビーコンの移動、オーディオ設定、DECT帯域幅などのヘッドセットからの追加メトリックによって強化されます。

CUCMのユーザインターフェイス(UI)とReal Time Management Tool(RTMT)はログ収集をトリガーでき、ユーザの介入なしに問題レポートツール(PRT)が含まれます。

CUCMは、ヘッドセット管理ソフトウェアやライセンスを追加することなく、JabberおよびIP電話を使用してヘッドセットに新しいファームウェアをプッシュできます。CUCM 12.5では、管理者は設定テンプレートからファームウェアバージョンを制御できます。

ファームウェアの自動アップグレードは、Cisco Unified Communications Managerの使用時に利用可能です。

 注：最新のヘッドセット管理機能を使用するには、Unified Communications Manager 12.5 SU1とCisco IP Phoneファームウェア12.5またはCisco Jabber 12.6が必要です。

設定

Cisco Unified Communications Manager(12.5 SU1)でシスコヘッドセットを設定するには、次の手順を実行します。

ステップ 1：図に示すように、シスコヘッドセットサービスをアクティブ化し、Cisco Unified Serviceability > Tools > Service activationの順に移動します。



Cisco Unified Serviceability

For Cisco Unified Communications Solutions

Alarm ▾ Trace ▾ Tools ▾ Snmp ▾ CallHome ▾ Help ▾

Cisco Un

System version

VMware Install

Service Activation

Control Center -
Feature Services

Control Center -
Network Services

Serviceability
Reports Archive

Audit Log

ceability

el(R) Xeon(R) CPU E5-2

ステップ 2 : ヘッドセットサービスをアクティブにするには、サーバを選択し、Cisco Headset Serviceチェックボックスをオンにして、Saveをクリックします。



Cisco Unified Serviceability

For Cisco Unified Communications Solutions

Alarm ▾ Trace ▾ Tools ▾ Snmp ▾ CallHome ▾ Help ▾

Service Activation

Save Set to Default Refresh

Status

Ready

Select Server

Server*

Check All Services

CM Services


	Service Name
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco CallManager
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco Unified Mobile Voice Access Service
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco IP Voice Media Streaming App
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco CTIManager
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco Extension Mobility
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco Extended Functions
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco DHCP Monitor Service
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco Intercluster Lookup Service
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco Location Bandwidth Manager
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco Directory Number Alias Sync
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco Directory Number Alias Lookup
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco Headset Service
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco Device Activation Service
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco Dialed Number Analyzer Server
<input checked="" type="checkbox"/>	Cisco Dialed Number Analyzer

ステップ 3： サービスが開始されたら、ヘッドセットを電話機に接続します。図に示すように、電話機は検出されたヘッドセットを報告します。



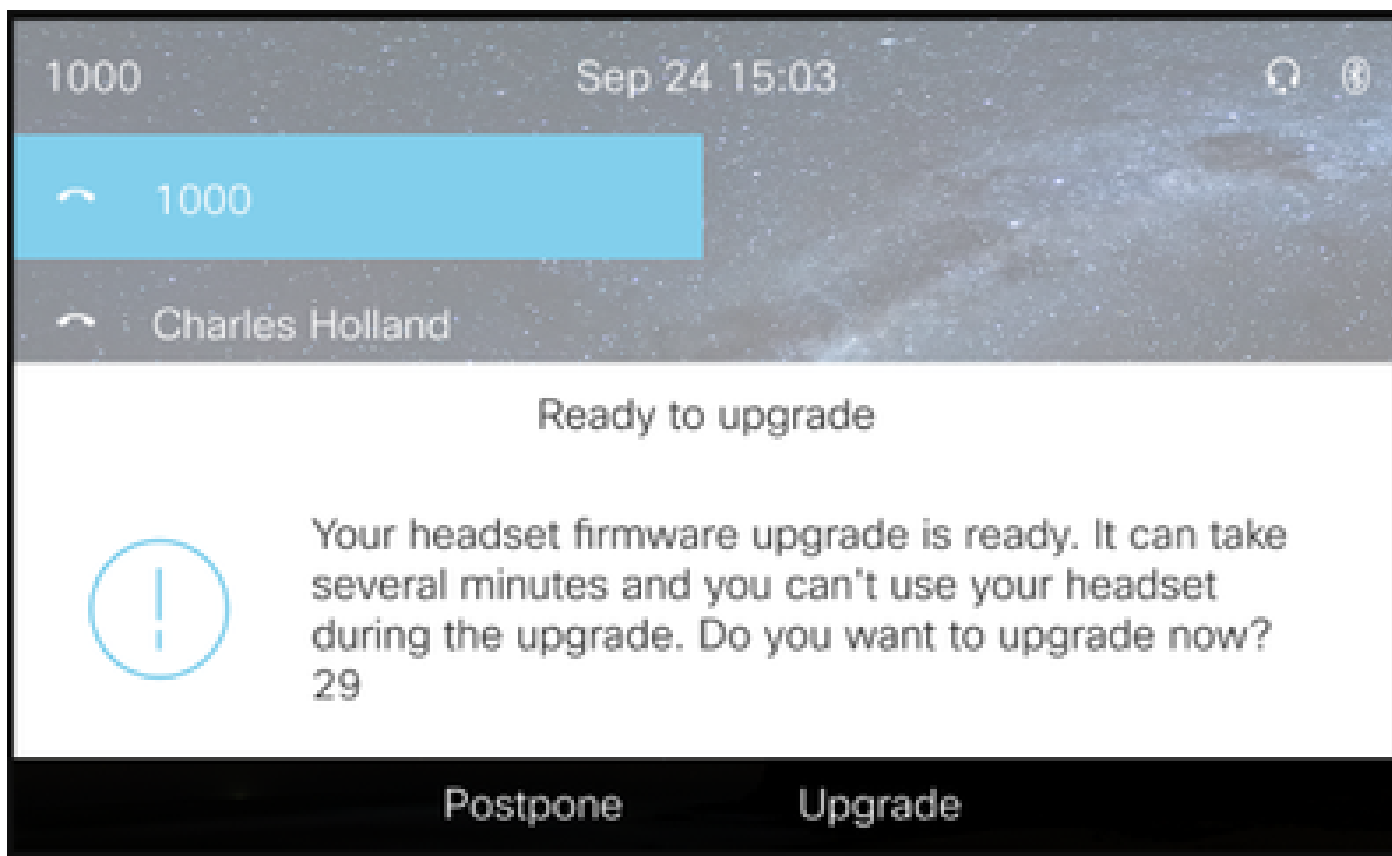
ステップ 4： ヘッドセットの設定を行うには、Setupを選択します。次の図に示すように、メニューにアクセスできます。



 ヒント：セットアップメニューには手動でアクセスできます。88XXおよび78XXシリーズの場合は、Settings > Accessories > Setupの順に移動します。

マイクゲインをテストして調整するには、録音/再生機能とオーディオの調整オプションを使用してサウンドをカスタマイズします。

CUCMにヘッドセットよりも新しいバージョンのファームウェアがある場合、電話機は図に示すようにヘッドセットファームウェアを自動的にアップグレードできます。



設定の制御とファームウェアのアップグレードは、会社のポリシーを確実にするためにリモートで行うことができます。CUCM管理者は、デフォルトテンプレートの表示、カスタムテンプレートの作成、およびユーザグループへの適用を実行できます。

ステップ 5 : ヘッドセットのファームウェアバージョンをカスタマイズするには、ヘッドセットテンプレートを使用できます。CM Administration > Device > Headset > Headset Templateの順に移動し、リストから1つ選択して、Copyをクリックし、図に示すようにモデルとファームウェアの設定を行います。

Cisco Unified CM Administration
For Cisco Unified Communications Solutions

Navigation Cisco Unified CM Administration administrator About Logout

System Call Routing Media Resources Advanced Features Device Application User Management Bulk Administration Help

Headset Template Configuration Related Links: Back To Find/List

Save Delete Copy Set to Default Apply Config

Headset Template Configuration

Name* Test Headset Template
Description Test Headset Template

Model and Firmware Settings**

Add new setting Choose Model Series 560 Add

Model Series	Firmware	Settings	Action
520/530	Latest (15-18-11)	Speaker Volume: 7 Microphone Gain: Default Sidetone: Low Equalizer: Default	Delete
560	Latest (1-5-1PA-118)	Speaker Volume: 7 Microphone Gain: Default Sidetone: Low Equalizer: Default Audio Bandwidth: Wide Band Bluetooth: On Conference: Enable	Delete

手順 6 : ユーザプロフィールをヘッドセットテンプレートに関連付けるには、ユーザプロフィールを選択し、上矢印と下矢印を使用して、図に示すように使用可能なプロフィールから割り当てられたプロフィールにユーザプロフィールを移動します。

Profile Configuration

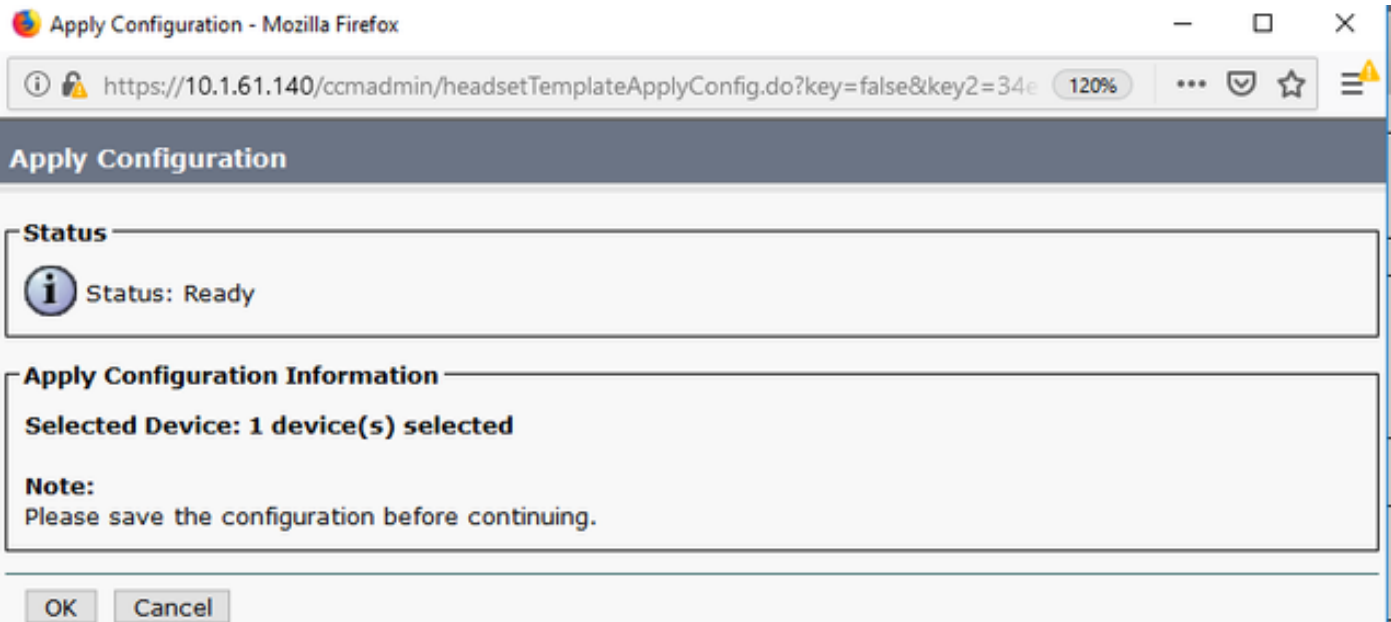
Available User Profiles Standard (Factory Default) User Profile (Standard Default Headsr ^

Assigned User Profiles Test User Profile ^

Note: Assigning a profile will disassociate it from the previous template

Save Delete Copy Set to Default Apply Config

手順 7 : 変更を保存するには、Saveをクリックしてから、Apply Configをクリックします。



ユーザプロフィールをエンドユーザに関連付け、デバイスのMACを制御対象デバイスの下に追加する必要があります。ユーザプロフィールがエンドユーザに関連付けられていない場合、またはデバイスがエンドユーザに関連付けられていない場合は、設定を適用すると「0 devices」と表示されます。

ステップ 8 : エンドユーザの関連付けを確認するには、CM Admin > User Management > End userの順に移動します。エンドユーザを選択し、ユーザプロフィールを設定して、図に示すようにSaveをクリックします。

End User Configuration

 Save  Delete  Add New

Status

 Status: Ready

User Information

User Status	Enabled Local User	
User ID*	<input type="text" value="victogut"/>	
Password	<input type="password" value="....."/>	<input type="button" value="Edit Credential"/>
Confirm Password	<input type="password" value="....."/>	
Self-Service User ID	<input type="text" value="1400"/>	
PIN	<input type="password" value="....."/>	<input type="button" value="Edit Credential"/>
Confirm PIN	<input type="password" value="....."/>	
Last name*	<input type="text" value="Gutierrez"/>	
Middle name	<input type="text"/>	
First name	<input type="text" value="Victor"/>	
Display name	<input type="text"/>	
Title	<input type="text"/>	
Directory URI	<input type="text"/>	
Telephone Number	<input type="text"/>	
Home Number	<input type="text"/>	
Mobile Number	<input type="text"/>	
Pager Number	<input type="text"/>	
Mail ID	<input type="text"/>	
Manager User ID	<input type="text"/>	
Department	<input type="text"/>	
User Locale	<input type="text" value=" < None >"/>	
Associated PC/Site Code	<input type="text"/>	
Digest Credentials	<input type="text"/>	
Confirm Digest Credentials	<input type="text"/>	
User Profile	<input type="text" value="Test User Profile"/>	<input type="button" value="View Details"/>
User Rank*	<input type="text" value="1-Default User Rank"/>	

ステップ 9 : エンドユーザをデバイスに関連付けるには、CM Admin > Device > Phoneの順に移動し、電話機を選択します。Userチェックボックスを有効にし、図に示すようにUser IDを選択します。Saveをクリックし、次にApply configをクリックします。

MAC Address*	2C3124C9F8E1	(SEP2C3124C9F8E1)
Description	Auto 1553	
Current On-Premise Onboarding Method is set to Autoregistration. Activation Code will only apply to onboarding via MRA.		
<input type="checkbox"/> Require Activation Code for Onboarding		
<input type="checkbox"/> Allow Activation Code via MRA		
Activation Code MRA Service Domain	-- Not Selected --	View Details
Device Pool*	Default	View Details
Common Device Configuration	< None >	View Details
Phone Button Template*	Universal Device Template Button Layout	
Softkey Template	< None >	
Common Phone Profile*	Standard Common Phone Profile	View Details
Calling Search Space	< None >	
AAR Calling Search Space	< None >	
Media Resource Group List	< None >	
User Hold MOH Audio Source	< None >	
Network Hold MOH Audio Source	< None >	
Location*	Hub_None	
AAR Group	< None >	
User Locale	< None >	
Network Locale	< None >	
Built In Bridge*	Default	
Privacy*	Default	
Device Mobility Mode*	Default	View Current Device Mobility Settings
Wireless LAN Profile Group	< None >	View Details
Owner	<input checked="" type="radio"/> User <input type="radio"/> Anonymous (Public/Shared Space)	
Owner User ID*	victogut	
Mobility User ID	< None >	

ステップ 10 : アップグレードのステータスを確認するには、電話機のWebページに移動します (Webアクセスが有効になっている必要があります)。デバイス情報セクションには、図に示すように、ヘッドセットのモデル、バージョン、およびステータスが表示されます。

Cisco Headset 560 Series with Multi Base

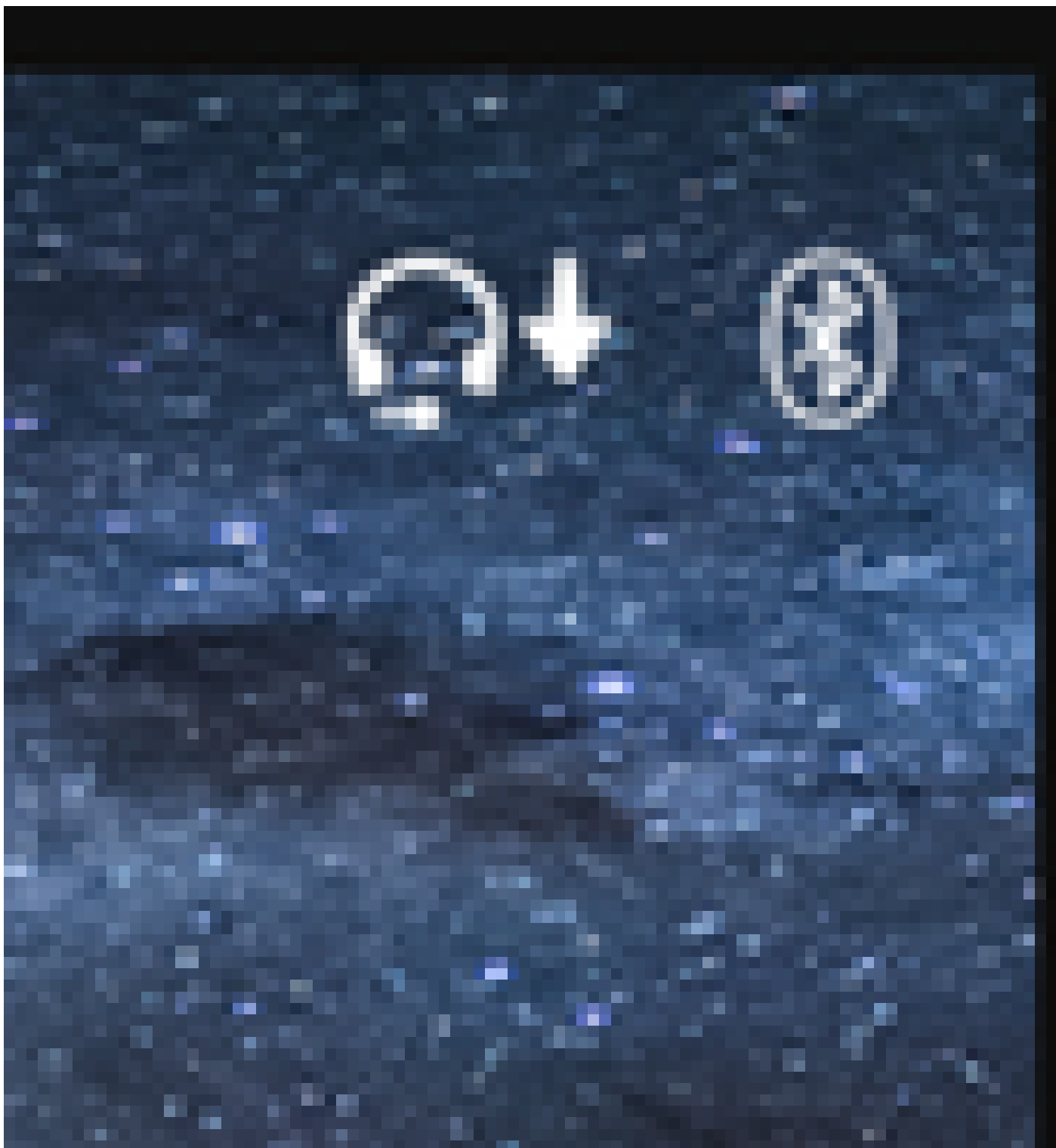
Port: USB

Version: 1-5-1-15

Upgrade status: Upgrade in progress

Last upgrade time: 07/12/19 03:29:43

一部の電話機モデル (88XXなど) では、図に示すように、電話スクリーンにダウンロードアイコンが表示されます。



ステップ 11図に示すように、電話機のWebページでsuccessfulステータスを受信すると、アップグレード/ダウングレードが完了したことを確認できます。


Cisco Headset 560 Series with Multi Base

Port: USB


Version: 1-5-1-15

Upgrade status: Successful

Last upgrade time: 07/12/19 03:29:43

 注：アップグレードが自動的に開始しない場合は、ヘッドセットを電話機から抜いて接続し、ヘッドセットを強制的に使用します。

ファームウェアのアップグレードは、CUCM管理者によってTFTPサーバに配置されます。ヘッドセットは、次回Cisco IP Phone (USBまたはYケーブルを使用) またはJabber 12.5+が稼働するラップトップに接続したときにアップグレードされます。ヘッドセットファームウェアは、COPファイルを通じてCUCMからヘッドセットにプッシュできます。

 注: Cisco Unified Communications Managerにアクセスできない場合は、オンラインツールを使用してシスコヘッドセットをアップグレードできます(560シリーズのみ)。 [Headset Upgrade Tool](#)

ステップ 12 同じユーザプロファイルを複数のエンドユーザに適用するには、一括管理ツール (BAT) を使用できます。CM Admin > Bulk Administration > Users > Update Users > Query の順に移動し、フィルタ基準を適用します。Find をクリックし、次に Next をクリックします。

ユーザ設定の更新ウィンドウで、User Profile チェックボックスをオンにし、ユーザプロファイルを選択します。Run immediately を選択し、図に示すように Submit をクリックします。

Update Users Configuration

Back Submit

User Information

Manager User ID

Department

Associated PC/Site Code administrator

User Locale < None >

Digest Credentials *****

Confirm Digest Credentials

User Profile Test User Profile

Service Setting

Home Cluster

Enable User for Unified CM IM and Presence

Assigned Presence Server < None >

UC Service Profile Use System Default

Include meeting information in presence(Requires Exchange Presence Gateway to be configured on CUCM IM and Presence server)

Extension Mobility

BLF Presence Group* Standard Presence group

SUBSCRIBE Calling Search Space < None >

Allow Control of Device from CTI

Maximum login Time (HH:MM)

Enable Extension Mobility Cross Cluster

Mobility Information

Enable Mobility

Enable Mobile Voice Access

Maximum Wait Time for Desk Pickup*

Remote Destination Limit*

Job Information

Job Description

Run Immediately

Update Users - Query

Run Later (To schedule and activate this job, use Job Scheduler page.)


ヘッドセットの接続

ヘッドセットを電話機に接続するには、USB、Yケーブル、またはBluetoothを使用できます。ヘッドセットの接続に使用するポートは、電話機のWebページで確認できます。ヘッドセットがAUXポート経由で接続されている場合は、図に示すようにステータスを取得できます。

Cisco Headset 560 Series with Multi Base

Port: AUX

Version: 1-5-1PA-118

 ヒント:AUXポートのみを接続している場合は、Yケーブルを使用してヘッドセットファームウェアをアップグレードできます。


78XXおよび88XX電話機でYケーブルを使用するには、Call ManagerでWireless Headset Hookswitch Controlパラメータを有効にする必要があります。

CM Admin > Device > Phoneの順に移動し、電話を選択します。電話機設定ページで、Headset hookswitch controlを探し、ドロップダウンリストからEnabledを選択します。Saveをクリックし、次にApply configをクリックします。

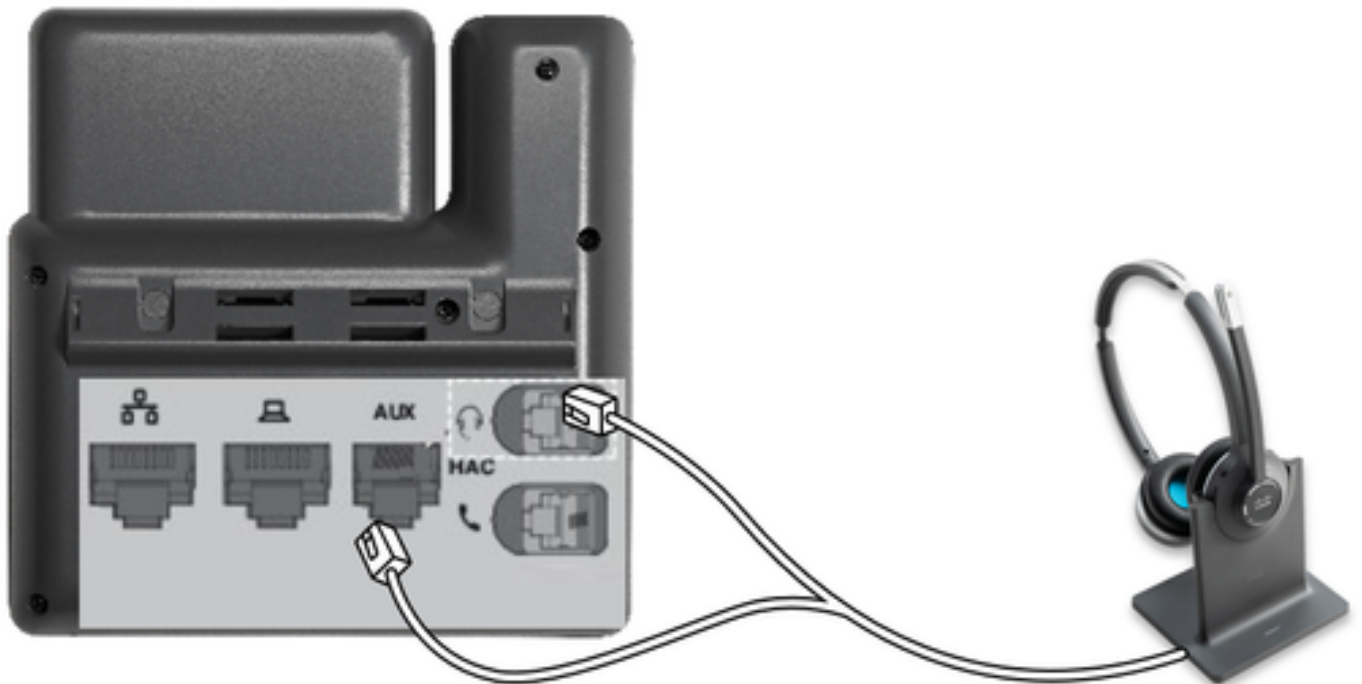
Wireless Headset Hookswitch Control*

Enabled



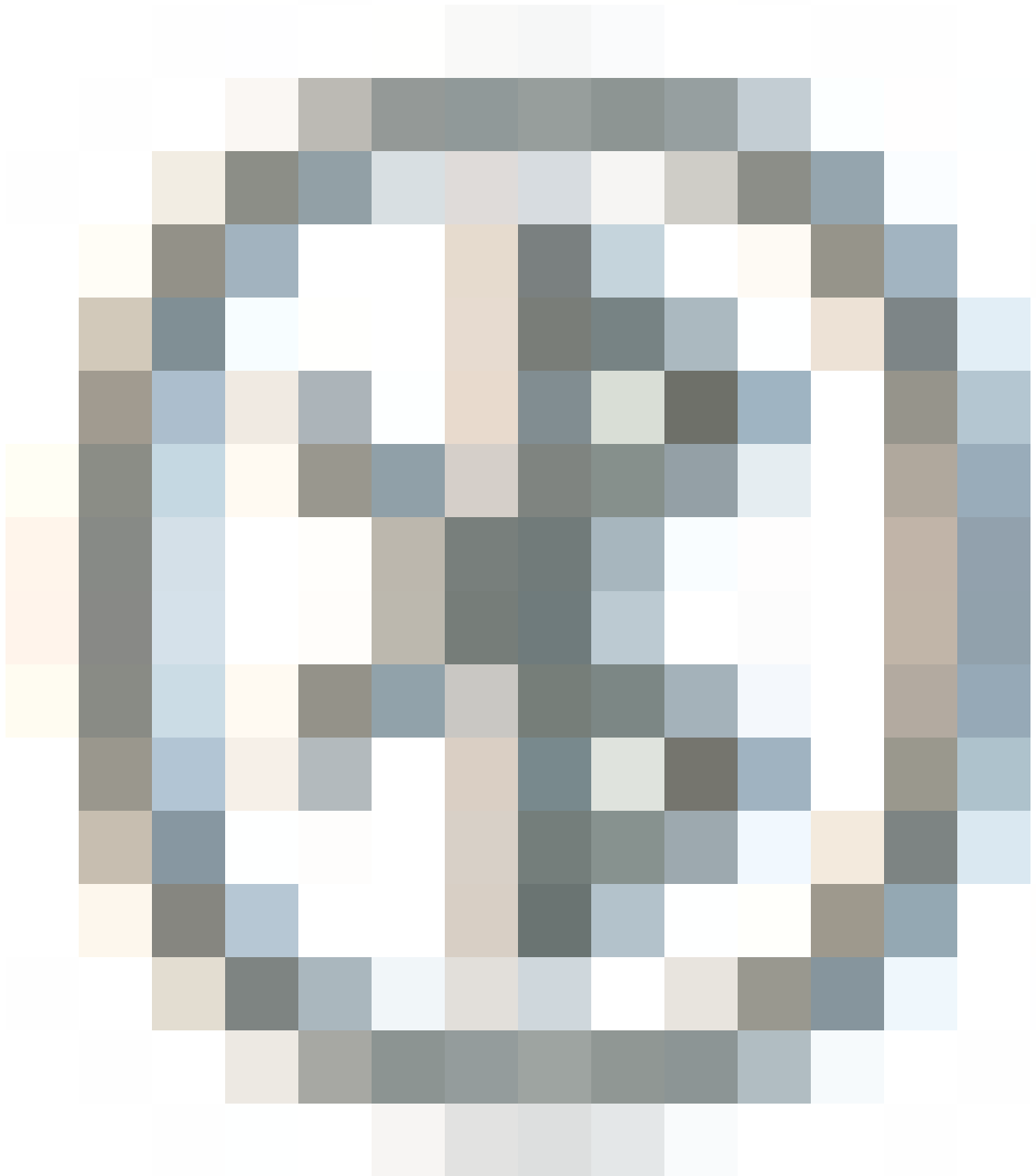
 注:CUCM 12.5.1 SU2以降では、エンドユーザがヘッドセットを柔軟に管理できるように、「ワイヤレスヘッドセットフックスイッチコントロール」というパラメータが削除されています。ワイヤレスヘッドセットフックスイッチコントロールは、電話機のアプリケーション>管理設定>AUXポート>接続e-フックヘッドセットで直接、ヘッドセットのAUXポートを使用できるように有効化できます。Cisco IP Phoneファームウェアリリース12.7(1)以降が必要で、電話機の設定ページで管理設定が有効になっている点に注意してください。

図に示すように、Y字型ケーブルは電話機のヘッドセットポートとAUXポートの両方に接続する必要があります。

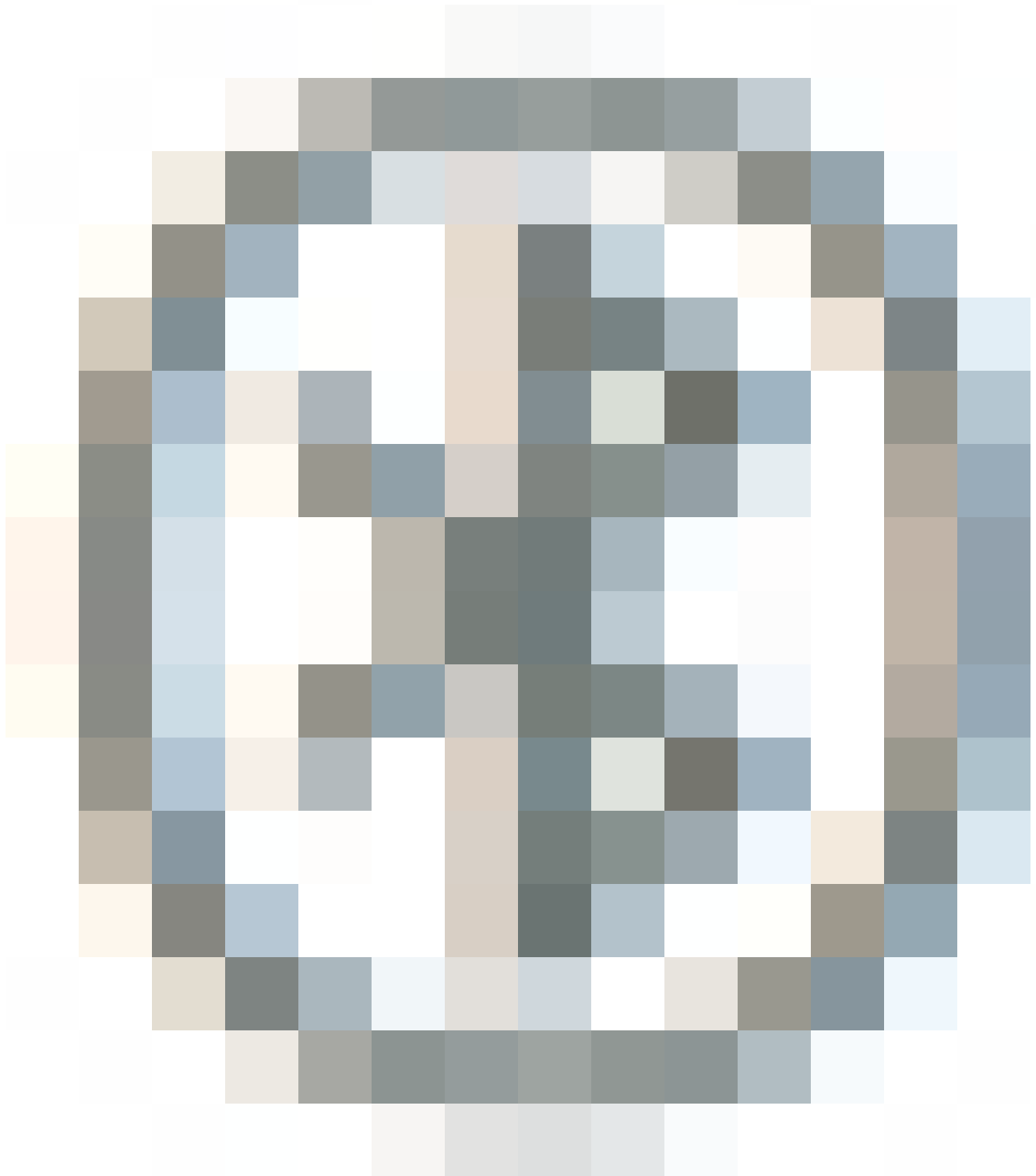


RJは一般的なテレフォニーコネクタで、アナログヘッドセットまたはハンドセットを接続するためにIP Phoneで使用されます。Cisco 531および532は、RJ接続またはUSBを提供します。Cisco IP Phoneは、ヘッドセットポートにRJ9、補助ポートにRJ11を使用します。この最後のポートは、コールに応答する、コールを終了するなどの信号を送信するために使用されます。

Bluetoothデバイスとベースをペアリングするには、を押します



ヘッドセットを2回使用します。宛先デバイスの設定で、ヘッドセットを選択します。ヘッドセットベースは、シスコヘッドセットとして表示され、その後にヘッドセットのシリアル番号の最後の3桁が続きます。ペアリングを解除してペアになっているBluetoothデバイスを忘れるには、保留にします。



4秒間。

ヘッドセットをドックステーションとペアリングするには、ヘッドセットをベースにドッキングします。ヘッドセットが別のベースに接続されている場合は、ベースとヘッドセットがペアになります。ペアリングすると、ヘッドセットの白いLEDが点滅から呼吸に変わります。ドックまたはヘッドセットが範囲外になると、白色のLEDが点滅します。

確認

ヘッドセットの詳細を確認するには、図に示すように、[CM Admin] > [Devices] > [Headset] に移動し、[Headset Inventory] を選択します。

Find and List Headset Inventory Related Links: [Headset Inventory Summary](#) Go

Select All Clear All Delete Selected

Status
4 records found

Headset Inventory (1 - 4 of 4) Rows per Page 50

Find Headset Inventory where Model begins with Find Clear Filter

<input type="checkbox"/>	Serial Number	Model	Vendor	Type	Firmware	User	Template	Status(since)	Dock model	Device Name	Device Model	Software Version	Headset Age(days)
<input type="checkbox"/>	WFG22464061	520	Cisco	Wired	15-18-15	victouat	Test Headset Template	disconnected (07/11/2019)		CP-8861-SEP2C3124C9F8E1	CP-8861	sip88xx.12-5-1SR3-74	0
<input type="checkbox"/>	GTK220802NZ	530	Cisco	Wired	15-18-15	victouat	Test Headset Template	disconnected (07/11/2019)		CP-8861-SEP2C3124C9F8E1	CP-8861	sip88xx.12-5-1SR3-74	0
<input type="checkbox"/>	WFG2303D000	561	Cisco	DECT Wireless	1-5-1PA-118		Standard Default Headset Configuration Template	connected (07/11/2019)	MB	CP-7841-SEP70F35AD228F7	CP-7841	sip78xx.12-5-1SR3-74.loads	0
<input type="checkbox"/>	WFG2238E0A0	562	Cisco	DECT Wireless	1-5-1PA-118	victouat	Test Headset Template	connected (07/11/2019)	MB	CP-8861-SEP2C3124C9F8E1	CP-8861	sip88xx.12-5-1SR3-74	0

注：ヘッドセットのインベントリまたはサービスアビリティは、12.5.1 SU1 (88xx、78xx電話機) のSynergy Lite電話機モデルでサポートされています。

ヘッドセットの詳細を確認するには、図に示すように、ヘッドセットインベントリでヘッドセットのシリアル番号をクリックします。

Mozilla Firefox

https://10.1.61.140/ccadmin/headsetInventoryDetail.do?setToken=...

Headset Inventory

Close

Headset Details

Model	562
Connection Status	connected
Vendor	Cisco
Firmware Version	1-5-1PA-118
Connection Type	DECT Wireless
Serial Number	WFG2238E0A0
Headset Age(days)	0
Template	Test Headset Template

Dock Details

Model	MB
Serial Number	WFG2303M07W

Host Details

Model	CP-8861
Device Name	CP-8861-SEP2C3124C9F8E1
Client	Cisco IP Phone
User Id	victogut
Firmware Version	sip88xx.12-5-1SR3-74
Serial Number	FCH2133E8B9
Host OSVersion	N/A

ヘッドセットインベントリの概要を取得するには、CM Admin > Devices > Headsetの順に移動し、Headset Inventory Summaryを選択します。図に示すように、モデルごとのヘッドセットの数や現在のステータスなどの詳細を取得できます。

Headset Inventory Summary

Headset Inventory by Model

Headset Model	Quantity
520	1
530	1
561	1
562	1

Headset Inventory by Status

Headset Model	Active (Seen in the last 30 days)	Inactive (Not Seen in the last 30 days)	Unassigned (No End User association)
520	0	1	0
530	0	1	0
561	1	0	1
562	1	0	0

トラブルシューティング

一般的な問題を解決するには、『[トラブルシューティングガイド](#)』を参照してください。

関連情報

シスコヘッドセットの使用方法的詳細については、『[クイックリファレンスガイド](#)』を参照してください。

ヘッドセットの互換性と設定の詳細については、『[Cisco Unified Communications Managerシリーズアクセサリガイド](#)』を参照してください。

ヘッドセットと8800シリーズ電話機の互換性の詳細については、『[Cisco IP Phone 8800でサポートされるアクセサリ](#)』を参照してください。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。